

大川市の給与・定員管理の状況について(令和4年度)

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (令和4年1月1日現在)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B)/(A)	(参考) 令和2年度の人件費率
令和3年度	32,845人	18,760,756千円	992,590千円	2,436,497千円	13.0%	11.2%

この人件費には、一般職員の給与のほか市長等の特別職、市議会議員、および行政委員会委員等の非常勤特別職、事業費支弁に係る職員に支払われる給料・報酬等が含まれています。

普通会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道及び上水道の各事業会計を除いたものです。

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

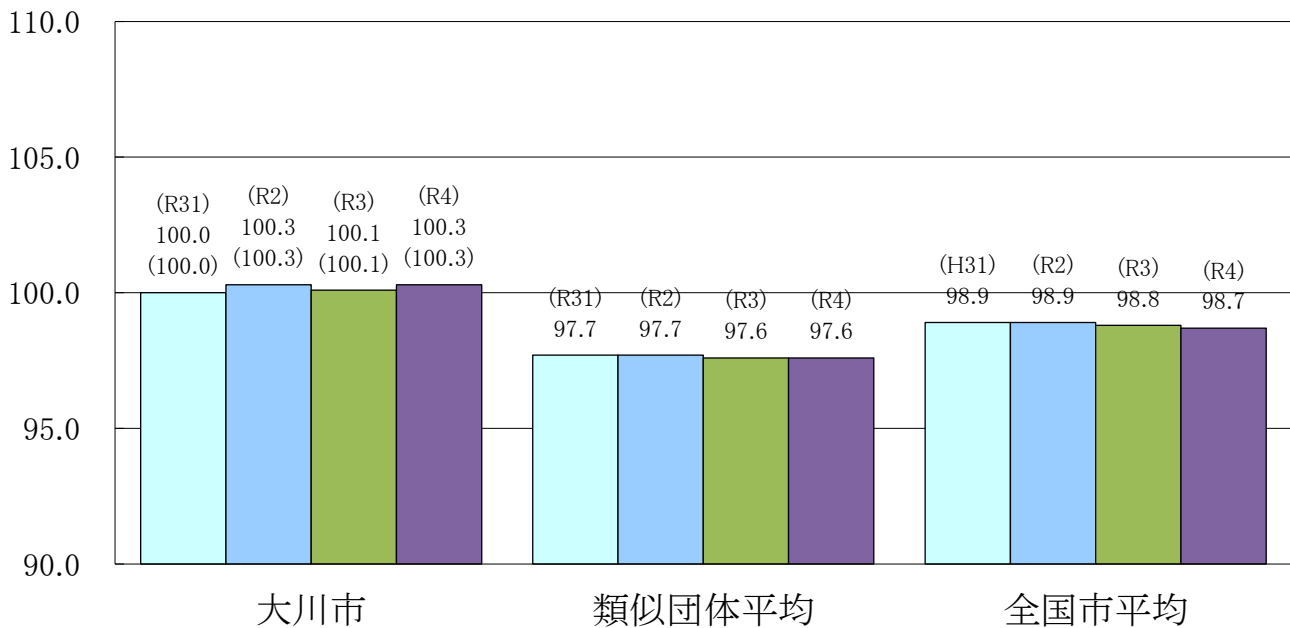
区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和3年度	221人	891,171千円	124,720千円	361,593千円	1,377,484千円	6,233千円	5,729千円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

2 職員数は、令和3年4月1日現在の人数です。

3 給与費については、再任用職員(短時間勤務)の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

(3) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。

2 ()書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされています。

① 給料表の見直し

[実 施]

(給料表の改定実施時期) 平成28年4月1日
 (内容)
 行政職給料表について、国の平成26年度の総合的見直し及び平成27年度の給与の増額改定を踏まえ、1.7%引下げ。また、激変緩和のため、5年間の経過措置(現給保障)を実施。

② 地域手当の見直し

	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成31年度	令和2年度
		4月1日時点	遡及改定後				
国基準による支給割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
大川市の支給割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	令和3年度	令和4年度					
国基準による支給割合	0%	0%					
大川市の支給割合	0%	0%					

※勤務地が、東京都特別区の職員については20%支給、福岡市の職員については10%支給、筑紫野市の職員については3%支給

③ その他制度の見直し

管理職特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。(平成28年4月1日実施)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(令和4年4月1日現在)

① 一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
大川市	42.4 歳	328,681 円	370,848 円	350,411 円
福岡県	42.0 歳	317,106 円	411,651 円	356,976 円
国	42.7 歳	323,711 円	— 円	405,049 円
類似団体	42.3 歳	314,153 円	372,573 円	341,315 円

一般行政職とは、全職員から税務職、保健看護職、消防職、および技能労務職等を除いた職員です。

② 技能労務職

区 分	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
大川市	53.9 歳	12 人	342,092 円	354,905 円	353,675 円
うち清掃員	52.0 歳	5 人	309,300 円	328,151 円	325,200 円
うち給食調理員	58.0 歳	2 人	388,400 円	395,900 円	395,900 円
福岡県	57.3 歳	375 人	321,301 円	373,080 円	348,677 円
国	51.1 歳	2,114 人	286,570 円	— 円	328,416 円
類似団体	51.5 歳	14 人	298,838 円	327,948 円	310,173 円

技能労務職とは、清掃員、給食調理員、及び土木工手等をいいます。

(注)1 「平均給料月額」とは、令和4年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当等のすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

(2) 職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

区 分		大 川 市	福 岡 県	国
一般行政職	大 学 卒	182,200 円	188,400 円	182,200 円
	高 校 卒	154,900 円	154,600 円	150,600 円
技能労務職	高 校 卒	154,900 円	—	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(令和4年4月1日現在)

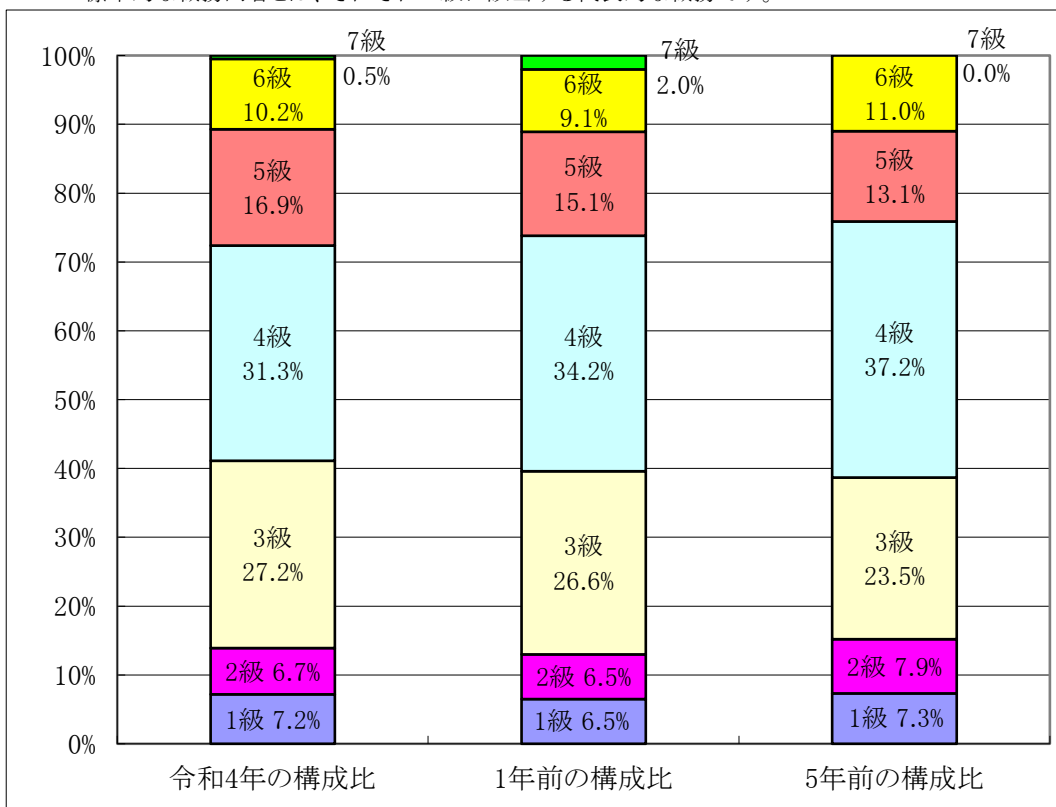
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	268,400 円	358,100 円	373,800 円	382,500 円
	高 校 卒	229,500 円	308,100 円	362,100 円	375,900 円
技能労務職	高 校 卒	229,500 円	308,100 円	362,100 円	375,900 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

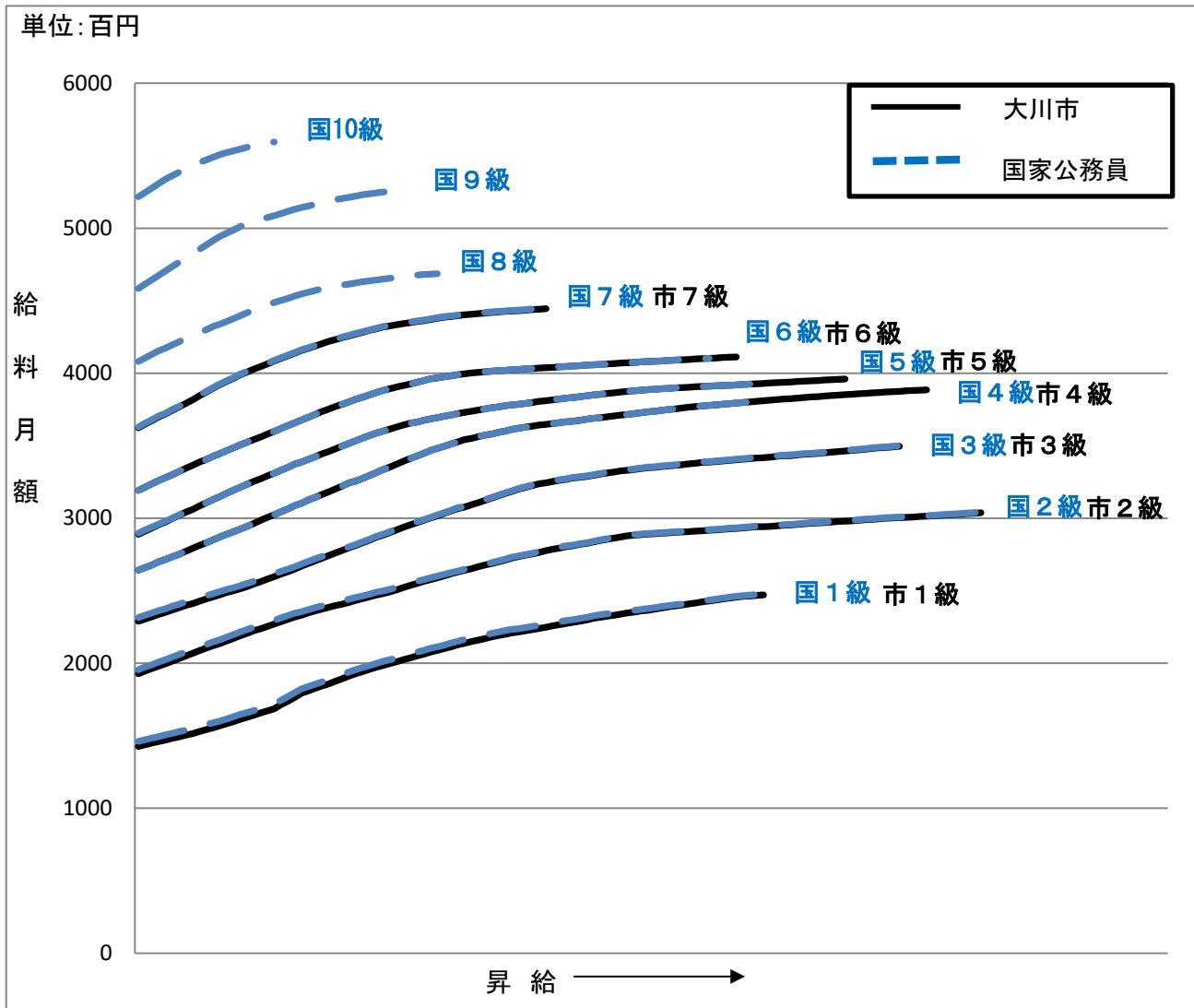
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(令和4年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 級	主 事 師	14 人	7.2%	146,100円	247,600円
2 級	主任主事 主任技師	13 人	6.7%	195,500円	304,200円
3 級	企画主査 技術主査	53 人	27.2%	231,500円	350,000円
4 級	係長 主任主査、現場主任	61 人	31.3%	264,200円	388,500円
5 級	課長補佐	33 人	16.9%	289,700円	396,000円
6 級	課長	20 人	10.2%	319,200円	411,200円
7 級	課長	1 人	0.5%	362,900円	444,900円

(注) 1 大川市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 国との給料表カーブ比較表(行政職(一))(令和4年4月1日現在)



(3) 昇給への人事評価の活用状況

令和4年度中における運用	管理職員		一般職員	
	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
イ. 人事評価を活用している				
活用している昇給区分				
上位、標準、下位の区分				
上位、標準の区分	○	○	○	○
標準、下位の区分				
標準の区分のみ(一律)				
ロ. 人事評価を実施していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

大 川 市	福 岡 県	国
1人当たり平均支給額(令和3年度) 1,508 千円	1人当たり平均支給額(令和3年度) 1,563 千円	—
(令和3年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(令和3年度支給割合) 期末手当 2.40 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.35)月分 (0.90)月分	(令和2年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職務の級等による加算措置 役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合を示しています。

○ 勤勉手当への人事評価の活用状況

令和4年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している				
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○		○	○
上位、標準の成績率		○		
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当(令和4年4月1日現在)

大 川 市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算)	
1人当たり平均支給額	17,612 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当(令和4年4月1日現在)

支給実績(令和3年度決算)		389 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)		194 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
市内全域	0 %	0 人	0 %
福岡市	10 %	1 人	10 %
地域手当補正後ラスパイレース指数 (ラスパイレース指数)		100.3 (100.3)	

(注) 地域手当補正後ラスパイレース指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレース指数。

(補正前のラスパイレース指数×(1+当該団体の地域手当支給率)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4) 特殊勤務手当(令和4年4月1日現在)

支給実績(令和3年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)		0 千円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(令和3年度)		0.0 %	
手当の種類(手当数)		3	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症防疫作業手当	健康課職員	感染症患者等の救護又は感染症の病原体の付着した物件の処理作業	日額 200円
		新型インフルエンザ等対策特別措置法定める感染症の拡大防止のため緊急に行われた措置に係る作業 (1) 患者若しくは感染の疑いのある者の身体に一定の時間接触して、又はこれらの者に長時間にわたり接して行う作業 (2) 患者等の検査、移送等に関わる作業 (3) 患者等を乗せた車両を消毒する作業 (4) 患者等の使用物の処理その他市長がこれに準ずると認める作業	(1) 勤務1日につき 4,000円 (2) 勤務1日につき 2,000円 (3) 勤務1日につき 1,500円 (4) 勤務1日につき 3,000円
行旅死亡人収容手当	福祉事務所職員	行旅死亡人の収容	1体あたり 800円
死体取扱手当	民間委託により対象職員なし	老人ホームに入所している者が死亡した場合の取扱業務	1体あたり 800円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(令和3年度決算)	56,606 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	244 千円
支給実績(令和2年度決算)	60,860 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)	280 千円

(注)職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含みます。

(6)その他の手当(令和4年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和3年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和3年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給する 被扶養者の続柄等により1人当たり6,500円～10,000円	同じ	—	33,196 千円	251,483 円
住居手当	借家もしくは借間に居住し、一定額を超える家賃などを支払っている職員、および世帯主である職員で自らの所有にかかる住宅に居住する職員に支給する 借家・借間 最高 28,000円	同じ	—	18,724 千円	275,356 円
単身赴任手当	異動等に伴い転居し、同居していた配偶者と別居し、単身で生活することを常況とする職員に支給する 基礎額30,000円に職員の住居と配偶者の住居との間の交通距離に応じて8,000円～70,000円を加算した額	同じ	—	0 千円	0 円
通勤手当	交通機関を利用し、あるいは交通用具を使用して通勤している職員で、片道2km以上の職員に支給する 自動車等の使用者 2,500円～15,600円 交通機関等の利用者 55,000円以下については運賃等相当額	異なる	使用距離区分について異なる	13,084 千円	68,501 円
宿日直手当	宿日直勤務を命ぜられた場合に支給する 1回4,200円	異なる	勤務時間が4時間未満の場合に半額支給している	0 千円	0 円
休日勤務手当	国民の祝日及び年末年始の休日に勤務を命ぜられた場合に支給する 勤務1時間あたりの給与額×(135/100～160/100)	同じ	—	782 千円	15,331 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務する職員に対して支給する 勤務1時間あたりの給与額×(25/100)	同じ	—	71 千円	17,719 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に対して支給する 課長 給与月額×12/100			14,181 千円	644,606 円
管理職特別勤務手当	管理職手当を支給される職員が臨時又は緊急の必要、その他の公務の運営の必要により週休日又は休日等に勤務した場合、または、災害等により週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間に勤務した場合に支給する 1回 6,000円	同じ	—	369 千円	16,773 円

5 特別職の報酬等の状況(令和4年4月1日現在)

区 分		給 料	月	額	等
給 料	市 長	819,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額		
	副 市 長	665,000 円	980,000 円/	382,500 円	
	教 育 長	593,000 円	— 円/	— 円	
報 酬	議 長	424,000 円	540,000 円/	310,000 円	
	副 議 長	379,000 円	486,000 円/	279,000 円	
	議 員	360,000 円	450,000 円/	259,000 円	
期 末 手 当	市 長 副 市 長 教 育 長	(令和3年度支給割合) 3.35 月分			
	議 長 副 議 長 議 員	(令和3年度支給割合) 3.30 月分			
退 職 手 当	市 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)	
	副 市 長	退職の日の給料月額×勤務月数×40/100	15,725千円	任期毎	
	教 育 長	退職の日の給料月額×勤務月数×25/100	7,980千円	任期毎	
		退職の日の給料月額×勤務月数×20/100	4,270千円	任期毎	

(注)1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(市長及び副市長は4年=48月、教育長は3年=36月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

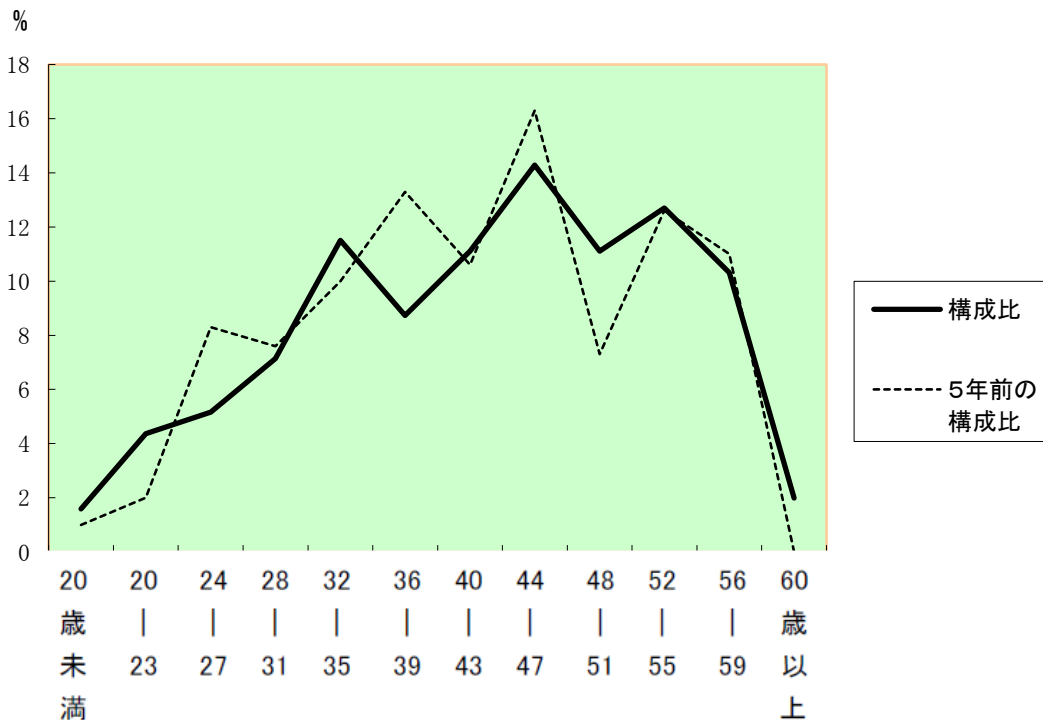
(単位:人 各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由	
		令和3年	令和4年			
普通会計部門	一般行政部門	議 会	4	4	0	再任用短時間職員配置による減 社会福祉協議会への職員派遣終了による減 大川柳川衛生組合へ職員派遣による増 再任用短時間職員配置による減 建築業務の見直しによる減
		総 務	54	53	△ 1	
		税 務	18	18	0	
		民 生	36	35	△ 1	
		衛 生	19	20	1	
		労 働	1	1	0	
		農林水産	27	26	△ 1	
		商 工	7	7	0	
	土 木	34	33	△ 1		
		計	200	197	△ 3	<参考> 人口1万人当たり職員数 59.98 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数68.13人)
	教育部門	21	21	0		
	小 計	221	218	△ 3	<参考> 人口1万人当たり職員数 66.37 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数88.01人)	
公営会 企 業 部 等 門	水 道	9	9	0		
	下 水 道	7	7	0		
	其 他	18	18	0		
	小 計	34	34	0		
合 計		255	252	△ 3	<参考> 人口1万人当たり職員数 76.72 人	
		[333]	[333]	[0]		

(注)1 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員等を含み、臨時または非常勤職員を除きます。

2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況(令和4年4月1日現在)



区 分	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
職員数	4人	11人	13人	18人	29人	22人	28人	36人	28人	32人	26人	5人	252人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年度	29年	30年	31年	2年	3年	4年	過去5年間の 増減数(率)
一般行政	191	194	196	195	200	197	6 (3.1%)
教 育	27	25	26	21	21	21	△ 6 (△22.2%)
消 防	45	45	0	0	0	0	△ 45 (△100%)
普通会計計	263	264	222	216	221	218	△ 45 (△17.1%)
公営企業等会計	38	37	35	36	34	34	△ 4 (△10.5%)
総合計	301	301	257	252	255	252	△ 49 (△16.3%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 令和2年度の総費用に 占める職員給与費比率
令和3年度	673,055千円	44,663千円	58,857千円	8.7%	8.7%

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和3年度	9人	37,121千円	5,384千円	16,352千円	58,857千円	6,539千円	6,028千円

(注)1 職員手当には退職給与金、児童手当を含みません。

2 職員数は、令和4年3月31日現在の人数です。

3 給与費については、再任用職員(短時間勤務)の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

イ 特記事項

特になし

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(令和4年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
大川市(水道事業)	40.9 歳	327,611 円	476,695 円
団体平均	45.5 歳	335,492 円	501,390 円

(注)1 基本給は、給料、扶養手当の合算額です。

2 平均月収額は、職員1人当たりの平均年収額を12で除して得たものであり、期末・勤勉手当を含みます。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

大 川 市 (水 道 事 業)		一 般 行 政 職		(参考)団体平均 一人当たり平均支給額
1人当たり平均支給額(令和3年度) 1,715 千円		1人当たり平均支給額(令和3年度) 1,567 千円		1,457千円
(令和3年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.45)月分	勤勉手当 1.90 月分 (0.90)月分	(令和3年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.45)月分	勤勉手当 1.90 月分 (0.90)月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～15%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～15%		

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合を示しています。

イ 退職手当(令和4年4月1日現在)

大 川 市 (水 道 事 業)			一 般 行 政 職		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)	
1人当たり平均支給額	19,581 千円		1人当たり平均支給額	17,208 千円	

(注)退職手当の1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員に支給された平均額です。

ウ 地域手当(令和4年4月1日現在)

支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
市内全域	0 %	— 人	0 %

エ 特殊勤務手当(令和4年4月1日現在)

支給実績(令和3年度決算)	—	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	—	円
職員全体に占める手当支給職員の割合(令和3年度)	—	%
手当の種類(手当数)	3	

オ 時間外勤務手当

支給実績(令和3年度決算)	1,578	千円
職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	175	千円
支給実績(令和2年度決算)	2,414	千円
職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)	241	千円

(注)1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みます。

- 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含みます。

カ その他の手当(令和4年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(令和3年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給する 被扶養者の続柄等により1人当たり6,500円～10,000円	同じ	—	1,134 千円	226,800 円
住居手当	借家もしくは借間に居住し、一定額を超える家賃などを支払っている職員、および世帯主である職員で自らの所有にかかる住宅に居住する職員に支給する 借家・借間 最高28,000円	同じ	—	1,478 千円	295,680 円
通勤手当	交通機関を利用し、あるいは交通用具を使用して通勤している職員で、片道2km以上の職員に支給する 自動車等の使用者 2,500円～15,600円 交通機関等の利用者 55,000円以下については運賃等相当額	同じ	—	603 千円	75,403 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に対して支給する 課長 給与月額12/100	同じ	—	582 千円	581,904 円

<p>管理職特別 勤務手当</p>	<p>管理職手当を支給される職員が臨時又は緊急の必要、その他の公務の運営の必要により週休日又は休日等に勤務した場合、または、災害等により週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間に勤務した場合に支給する 1回 6,000円</p>	<p>同じ</p>	<p>—</p>	<p>9 千円</p>	<p>9,000 円</p>
-----------------------	---	-----------	----------	-------------	----------------